



⑤中尊寺本堂で開催された「平和の祈り」／⑥平和の祈りの後に参加者らが金色堂を参拝／⑦「平泉かをり創造プロジェクト(南洞法玲代表)」が平安時代の香りを再現した商品を開発／⑧奥州藤原氏3代秀衡公の時代の土中より出土したハスの実から発芽させた「大池ハス」／⑨平泉学の学習で中学1年生が座禅体験



「平泉の文化遺産」が、ユネスコの世界文化遺産に登録されてから6月29日で10年を迎えました。同日は町内で、登録10周年を祝い平泉商工会館に懸垂幕が掲げられ、駅前広場では町内外の事業者が出店した第1回平泉駅前マルシェなどが開催されました。中尊寺では、町と町内8寺院の共催で「平和の祈り」を開催。小学生の合唱を取りやめるなど、規模を縮小しながら2年ぶりに開催しました。青木町長は謝辞で「平泉を築いた先人の平和理念を広く発信し、人類共通の遺産として将来に伝えていきたい」と誓いを新たにしました。参加者らは、平和で平等な世界の実現、震災からの復興、新型コロナウイルス感染症の早期終息を祈念しました。

世界文化遺産登録10周年  
平和の願いを  
平泉から世界へ



①10周年を記念して商工会館に掲げられた懸垂幕／②鮮やかなピンク色の花を咲かす中尊寺ハス。奥州藤原氏4代泰衡公の首おけに入っていた種子を開花させたもので、当時と変わらぬ姿を見せている／③平泉郵便局でケロ平が1日郵便局長を務め、来場者に記念品をプレゼント。／④駅前特設会場で行われた駅前マルシェ。県産材で組み立てた「いわてヤタイ」で、飲食物や野菜、雑貨などが販売されました